

科 目 名

デザイン実習 I
Design Exercise I

1年 前期・後期通し 2単位 選択

星 加 民 雄

概 要

視覚表現には形態、素材、色彩の三つの主要要素があります。この授業では、建築表現の基本となる色彩感覚の習得とコンポジション（構図）のセンスを身につけることを前提とした建築デザインに結びつくデザインの基礎表現技法を習得していきます。

学習目標

- (1) 理論的かつ感覚的な視覚表現力とビジュアルセンスを身につけます。
- (2) 建築におけるデザインの考え方と方法について課題制作を通して理解、習得していきます。

授業計画

テ ー マ	内 容
① 課題1：トーンによる視覚表現	写真をモチーフとしたトーン分解／ 写真の5階調明度分解とトレースアップ作業
② 同上	トレースダウン（転写）と5階調の配色計画
③ 同上	彩色、フィニッシュワーク
④ 課題2：分割構成1（平面構成）	課題1の作品講評、および課題2の説明 分割理論をもとにしたアイデア展開
⑤ 同上	アイデアスケッチをもとにした配色計画
⑥ 同上	彩色、フィニッシュワーク
⑦ 同上	課題2の作品講評、総評
⑧ 課題3：分割構成2（立体構成）	平面における分割理論をもとにした立体的表現（レリーフ表現）／ 黄金比の理論をもとに平面上でのアイデア展開
⑨ 同上	平面上での分割構成をもとにレリーフ上に立体化 立体化されることによる側面の要素を含めた配色計画および構成
⑩ 同上	同上の作業、フィニッシュワーク
⑪ 課題4：反射光レリーフ	課題3の作品についての全体講評、および課題4の説明 反射光を利用した天井照明を想定
⑫ 同上	アイデアスケッチと縮小モデル作成
⑬ 同上	本制作（部材構成）／スチレンボード、色紙
⑭ 同上	部材構成、フィニッシュワーク
⑮ 同上	総評

授業方法

配布プリントに沿って課題制作を行い、制作プロセスにおける技術指導、ならびにアイデアの助言を学生の制作状況に応じて個別に行う。また提出作品に対しては全体講評に加えて個別の講評を行います。

学習到達度の評価

- 1) 授業中に制作条件や目的を提示したうえで、学生の質問等に対応しながら、個別に制作方法やアイデアの展開方法等の助言を行うとともに、学生個々の学習到達度を確認していきます。
- 2) 課題の制作過程において問題箇所が見つかれば、その都度、問題解決の糸口が見つかるように助言を行い、目標到達に向けての刺激を与えていきます。
- 3) 全体講評の際には、デザインをしていく上での感性が育成されていることを各自が実感できるように、できるだけ良くなった部分の評価に重点を置くことを心がけていきます。

評価方法

作品の提出状況、作品の完成度や質的内容で総合的に評価します。

教科書・教材

配布プリント

参 考 書

芸術・デザインの平面構成、芸術・デザインの立体構成／朝倉直己 著

履修上の注意

将来、建築デザインを目指すものはできるだけ受講してください。

オフィスアワー

放課後、あるいは授業の開き時間は、適宜、研究室にて質問を受け付けます。

「建築計画コース・建築構造コース」における位置づけ	必修／選択の別	学習保証時間
本科目は、シラバスに記載されている建築学科の学習・教育目標の主としてB1に関連する。	選択	45時間